

まだまだ現役！今日も　元気に地域で活躍中！
会員の皆さんに　きいてみた！



窪和久 公子さん

75歳

出身：隼人町
主な業務：事務、会員の仕事調整
センター歴：職員20年、会員15年
現在センター理事、女性の会会長

●入会したきっかけは

平成３年にシルバー人材センターを新たに立ち上げる時に市役所から声をかけていただいて、職員として働き始めたことがきっかけです。

●やりがいを感じる瞬間は

会員の皆さんの仕事の世話役をしているのですが、例えば夏場の屋外作業など、「暑い中での作業は大変ではないか」と心苦しく思いながら、会員の方にお願いすることもあります。それでもなんとかやり遂げてくださり、お客様から「助かった。ありがとう」と喜んでいただけた時は格別です。会員の皆さんの「役立ちたい」という思いと、お客様の「感謝」の思いが一つに繋がったと感じられる瞬間が、私にとって何よりの楽しさです。

●シルバー人材センターの魅力は

私の35年間のシルバー人生で感じるのは、皆さんの仲間意識の強さです。仕事や同好会活動を通じ、さまざまな人と出会い、一緒に活動できることがシルバー人材センターの一番の魅力だと思います。



黒木　康弘さん

65歳

出身：兵庫県神戸市
主な業務：草刈り、農作業など
センター歴：会員１年未満

●やりがいを感じる瞬間は

草刈りは街がきれいになることに加え、仕事の前後で成果がはっきり分かるので、やりがいを感じやすい仕事ですね。特に夏場の草刈りでは、近所の方が「暑い中ありがとう」と差し入れをくださることもあり、それが何より嬉しいです。

自分たちの仕事を見て評価してくれていることが伝わり、「ありがとう」と言ってもらえると励みになりますね。

刈り方はまだまだ先輩方に及びませんが、目指すは霧島でナンバーワンになりたいと思っています！



美留子さん ご夫妻

67歳

出身：宮崎県小林市
昨年霧島市に移住し、ご夫婦で入会



●入会したきっかけは

神戸で訪問美容の仕事をしていましたが、それをやめて毎月のように九州を旅行するうちに霧島への移住を決めました。

ハローワークで仕事を探しましたが、思うような仕事が見つけられませんでした。そんな時、主人が草刈りの仕事に興味を持ち、宮崎出身の私が薩摩言葉の通訳を兼ねて二人でシルバーセンターに登録したのがきっかけです。最初はこんな素人に任せて大丈夫かなと思いましたが、今は草刈り機にも慣れて楽しく仕事をしています。



取材協力、ありがとうございました。



大坪 百合子さん

78歳

出身：牧園町
主な業務：一般家庭生活援助
　　商品券販売業務など
センター歴：会員13年

●心に残るエピソードは

ある高齢の男性のお宅へ、衣類整理の仕事で伺った時のことです。男性から「自分は盆栽に水やりをするから、好きなようにやって」と任されました。普段なら一緒に相談しながら整理するところですが、どうしようと考えた末、タンスに「ハンカチ」「タオル」などの名前を書いて貼ることにしました。男性が盆栽から戻ってくると、とても気に入ってくださり「本当に良かった」と喜んでくださいました。

さらに、その出来事をシルバー人材センターの広報誌に投稿してくださり、それがとても嬉しかったですね。

●今の生きがいは

孫の成長や旅行に行くことを楽しみにしています。それともう一つ… K-POP が大好きなんです！好きなグループの「推し」を応援して SNS で発信しています。人生楽しんだ者勝ちですからね！

ひとつの組織の課題ではなく、　共に、霧島の新時代へ

シルバー人材センターが直面している課題は、決して一つの組織の悩みにとどまりません。それは、「人口減少・少子高齢化が進む中で、いかにして地域社会のインフラや経済を維持し、すべての世代が生きがいを持てる共生社会をつくるか」という、日本全体が抱える普遍的な課題の縮図です。

取材を通して、ニーズがあっても担い手不足で仕事につながらない現状や、報酬設定の難しさも見えてきました。仕事の「見える化」と、障がい者や外国人など多様な人材との役割分担が、今後の鍵になります。

そうした中、霧島市シルバー人材センターは従来の「仕事の仲介」にとどまらず、子育て世代も集える多世代交流の推進や、「身近な相談拠点」としての新たな挑戦へと踏み出しています。

また、補助金に過度に頼らず、自ら仕事をつくり出すそのたくましさなど、私たちが学ぶべき点も数多くありました。

本市では「すこやか支えあいプラン」に「高齢者の生きがいづくりの充実」を掲げ、令和８年度からは初の「地域福祉計画」の策定も始まっています。今回の取材で見えた「担い手の確保」「仕事の見える化」「多世代が集える拠点づくり」などを市議会でも議論してまいります。

高齢者の方々がいきいきと活躍できる霧島市へ――。皆さんの生きがいが地域のチカラになる、その環境づくりに取り組んでまいります。